

八重咲きデルフィニウム ハイランダーシリーズの開花特性

表1 八重咲デルフィニウムの特性(2022) 注)

品種名	花色	1株当たりの 収穫本数 本/株	切り花長 cm	花穂長 cm	着花節位 節	切り花重 g	茎径 cm	着花数 個
チャチャ	藤	3.8	132.5	75.0	17.5	128.1	9.8	33
サンバ	白	6.3	124.2	59.3	10.9	67.2	7.8	30
ミステリー センセーション	桃	9.8	91.0	40.7	10.6	40.7	5.7	20
クリスタル デライト	緑	13.0	115.2	52.0	13.5	75.5	7.2	30

注) 育苗：2022年7月31日に順化苗を6.5cmのポリポットに鉢上げし、昼温25℃、夜温15℃の冷房育苗ハウス内で育苗。
定植：9月13日に畝幅135cm 株間30cmの2条千鳥植え(2,469株/10a)。元肥はN成分で10kg/10a、追肥はN成分2kg/月を施用。
電照・加温：日長は10月15日から暗黒時間を20：00～2：00とする20時間日長。夜温は1番花収穫後、2月末まで日没後3時間を20℃、その後は13℃のEOD加温、3月以降は13℃一定。
収穫：頂花蕾が8～9割開花状態で収穫し、5月20日まで調査。



図2 ハイランダーシリーズ

- ① ‘チャチャ’
② ‘サンバ’
③ ‘ミステリーセンセーション’
④ ‘クリスタルデライト’

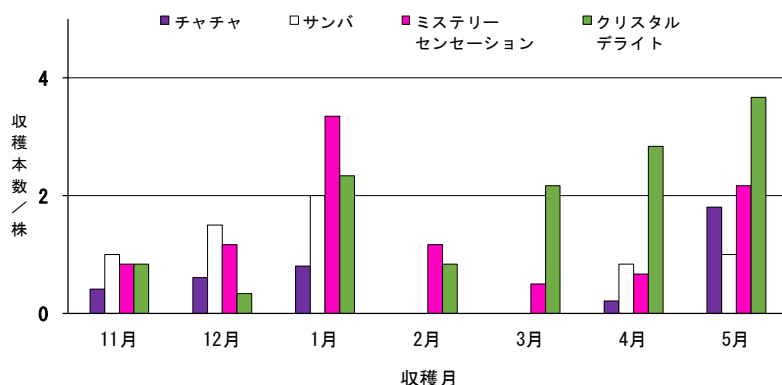


図1 月別収穫本数(2022)

八重咲きデルフィニウムのハイランダーシリーズは、ヨーロッパで育成された新品種です。この花は、国内の夏秋産地でごく少量が生産されていますが、従来の品種にはない花色や花卉の重なり的美しさから新しいデルフィニウムとして注目されています。しかし、県内ではこれまで導入されたことがなく、特性等は不明でした。そこで、当センターで、代表的な4品種(図2)の冬春作型での開花特性を調査しました。

収穫本数は、‘クリスタルデライト’で13本/株と最も多く、最も少ない‘チャチャ’と比べて9本程度多くなりました(表1)。また、‘ミステリーセンセーション’、‘クリスタルデライト’では、

毎月収穫できましたが、‘チャチャ’、‘サンバ’では、1番花の収穫後、ロゼット株の状態となり、2月と3月の収穫がありませんでした(図1)。切り花は、いずれの品種も90cm以上あり、着花数は、‘ミステリーセンセーション’を除く3品種で30輪程度と、花数が多いボリュームのある花となりました(表1)。

以上のことから、ハイランダーシリーズは、切り花品質は良いものの、冬期にロゼット株となり収穫本数が少なくなる品種があることが明らかとなりました。

今後、当センターでは、冬春期に安定的に収穫できる栽培技術の開発に取り組めます。

(花き担当 平石 真紀 088-863-4918)